

専門研修「公衆衛生行政」

【実施日】	7月7日（火）、8日（水）
【受講決定者数】	53名
【受講生の声】	・保健所の役割や事業について法や統計データに基づきながら学ぶことができました。今後の業務にあたる際には、今回教えていただいた公衆衛生はデータに基づいて考えるといった考え方や、法的根拠や統計・調査、国や都、他自治体の動向を調べるといったことを実践してまいります。 ・基本的な業務内容だけでなく、全体の位置づけや役割についてより深く理解することができました。担当業務を部分的に捉えていましたが、生活衛生課全体の業務の流れや他の業務とのつながりを考える意識をつけようと思いました。 ・事例検討を通して、感染症の発生時からの対応の流れについて理解を深めることができました。特に、集団発生が想定される場合には、多職種、他機関との連携が重要であり、チームワークを高めることが感染拡大の防止につながることを学ぶことができました。 ・保健所の業務は多岐に渡り、課を横断して協力する必要がありますが、今回の研修で保健所の全体像を掴め、広い視野を持って業務に取り組むことができると思いました。